



2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年1月31日

上場会社名 株式会社アドバンテスト 上場取引所 東
 コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/ja/investors/>
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 Group CEO (氏名) 吉田 芳明
 問合せ先責任者 (役職名) 経営執行役員 CFO & CSO (氏名) 三橋 靖夫 TEL 03-3214-7500
 四半期報告書提出予定日 2024年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	350,744	△15.0	62,099	△51.9	59,567	△55.2	47,143	△52.8	47,143	△52.8	56,518	△48.5
2023年3月期第3四半期	412,799	37.6	129,140	59.4	132,858	63.3	99,806	63.9	99,806	63.9	109,843	55.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	63.93	63.71
2023年3月期第3四半期	132.75	132.25

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「基本的1株当たり四半期利益」および「希薄化後1株当たり四半期利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	635,025	402,181	402,181	63.3
2023年3月期	600,224	368,694	368,694	61.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	65.00	—	70.00	135.00
2024年3月期	—	65.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期および2024年3月期の第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	480,000	△14.3	85,000	△49.3	82,500	△51.8	64,500	△50.5	64,500	△50.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 詳細は、添付P.4「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	766,141,256株	2023年3月期	766,169,060株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	27,965,584株	2023年3月期	29,312,904株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	737,459,866株	2023年3月期3Q	751,849,060株

- (注) 1. 2023年3月期の期末自己株式数には、業績連動型株式報酬信託口が保有する当社株式648,732株が含まれております。また期中平均株式数は、株式報酬制度に係る株式を考慮して計算しております。
2. 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 経営成績の概況	P. 2
(2) 財政状態の概況	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(セグメント情報)	P. 10
2023年度第3四半期決算(連結)の概要	P. 12

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日~2023年12月31日)の状況 (単位:億円)

	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	4,128	3,507	△15.0%
営業利益	1,291	621	△51.9%
税引前四半期利益	1,329	596	△55.2%
四半期利益	998	471	△52.8%

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ後の正常化が進んだものの、欧米を中心とした金融引き締め政策、中国景気の成長鈍化などから全体としては減速感が強まりました。

このような世界経済情勢のもと、スマートフォンやパソコン、テレビなど主要な民生機器での需要減少、さらにはデータセンタ投資も減速したことから、半導体市場においても関連する半導体の需要が落ち込みました。生成AI関連などの一部の半導体では需要が増加しているものの、多くの半導体メーカーで在庫調整や設備投資の抑制が実施され、半導体市場は前年比で縮小しました。

当社の半導体試験装置ビジネスにおいては、社会のデジタル・トランスフォーメーションの加速化を背景に、過去3年度にわたり顧客の旺盛な投資が行われてきましたが、半導体市況が弱含んだことで、多くの顧客サプライチェーンで設備の余剰が発生し、当社製品の需要は前年同期に比べ大きく落ち込みました。

これらの結果、売上高は3,507億円(前年同期比15.0%減)となりました。利益面では、減収に加え好採算品の販売比率低下および原材料費の上昇などから営業利益は621億円(同51.9%減)となりました。為替差損による金融費用の増加に伴い税引前四半期利益は596億円(同55.2%減)、四半期利益は471億円(同52.8%減)となりました。当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが142円(前年同期135円)、ユーロが154円(同139円)、海外売上比率は96.1%(前年同期96.6%)でした。

セグメントの業績は次のとおりです。

<半導体・部品テストシステム事業部門> (単位:億円)

	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	2,935	2,400	△18.2%
セグメント利益	1,223	653	△46.7%

当部門では、SoC半導体用試験装置は自動車や産業機器関連の半導体に向けた売上は堅調でした。しかしながらスマートフォン市況の停滞やサーバー投資の減速から、それらに関連する高性能な半導体への製品販売が落ち込みました。メモリ半導体用試験装置については、高性能なDRAMに向けた旺盛な試験装置需要がメモリ半導体市況の悪化の影響を補い、売上は前年同期と同等の水準となりました。利益面においては、減収に加え、製品ミックスの悪化や部材調達コストが上昇したこともあり、当セグメントの収益性が低下しました。

以上により、当部門の売上高は2,400億円(前年同期比18.2%減)、セグメント利益は653億円(同46.7%減)となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位：億円)

	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	423	359	△15.2%
セグメント利益	100	49	△51.4%

当部門では、半導体試験装置の需要減少を背景に、関連するデバイス・インタフェース製品、テスト・ハンドラの売上が減少しました。ナノテクノロジー製品も前年度に顧客へ製品納入が進んだことから、売上が減少しました。

以上により、当部門の売上高は359億円（前年同期比15.2%減）、セグメント利益は49億円（同51.4%減）となりました。

<サービス他部門>

(単位：億円)

	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	771	748	△2.9%
セグメント利益	101	43	△57.6%

当部門では、当社製品の設置台数の増加に伴い保守サービスの売上は伸長しました。しかしながら、特定顧客向けの売上比率が高いシステムレベルテスト事業において、民生機器向け半導体の需要減少により売上が低調でした。また当事業における中長期的な事業成長を見越した生産体制強化に取り組んでいることから、当セグメントの利益額は前年同期を大幅に下回りました。なお第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、取引先との係争に関する受取和解金等約32億円を含んでいます。

以上により、当部門の売上高は748億円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益は43億円（同57.6%減）となりました。

(2) 財政状態の概況

当第3四半期末の総資産は、営業債権およびその他の債権が171億円、現金および現金同等物が98億円それぞれ減少したものの、棚卸資産が389億円、有形固定資産が108億円、主に前払税金の増加によりその他の流動資産が107億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比348億円増加の6,350億円となりました。負債合計は、未払法人所得税が227億円、営業債務およびその他の債務が185億円それぞれ減少したものの、借入金が増加したことなどにより、前年度末比13億円増加の2,328億円となりました。また、資本合計は4,022億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比1.9ポイント増加の63.3%となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第3四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より98億円減少し、757億円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益596億円を計上したことに加え、法人所得税の支払額（△451億円）、棚卸資産の増加（△362億円）に減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、28億円の支出（前年同期は、465億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、219億円の支出（前年同期は、200億円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出（△141億円）と子会社の取得による支出（△83億円）によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、124億円の収入（前年同期は、622億円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の増加（400億円）と配当金の支払（△246億円）によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の当社を取り巻く市場環境を展望しますと、中長期的には半導体は社会のデジタル・トランスフォーメーションやグリーン・トランスフォーメーションを支えるインフラストラクチャーとして、さらに高い機能や信頼性が求められ、半導体市場の成長は揺るぎないものと考えます。AIを活用する新たなアプリケーションの台頭などによりデジタル革命が促進されるとともに、カーボンニュートラル対応の社会的要求の高まりから、エネルギー効率改善を実現する半導体技術の重要度も増しています。顧客においてもさらなる微細化をはじめとした次世代デバイスの開発が意欲的に継続されています。「安全・安心・心地よい」環境・社会を支える半導体を世の中に提供するための半導体試験装置の需要も半導体市場の成長と軌を一にして成長していくものと予想します。

暦年2024年は半導体需給の改善から半導体メーカーでの生産調整が少しずつ解消に向かうとともに、生成AI関連の投資の活発化も予想され、半導体市場は暦年後半から活況に転じると考えます。そのため、当社の事業環境も徐々に改善が見込まれます。一方で世界経済を俯瞰すると、米国などでの景気後退に対する懸念は払拭されていません。加えて、地政学的リスクの拡大や急激な為替変動リスクなど、短期的には不確実性の高い状況が継続しています。

これらの見通しおよび当第3四半期連結累計期間の業績進捗などを踏まえ、当連結会計年度の通期連結業績予想を次のとおりに修正します。売上高は2023年10月時点の4,700億円から4,800億円へ、営業利益は800億円から850億円へ、税引前利益は785億円から825億円へ、当期利益は600億円から645億円へ、それぞれ上方修正します。当連結会計年度第4四半期の業績予想の前提とした為替レートは、米ドルが145円、ユーロが155円です。なお、米国および同盟国による半導体製造装置の対中輸出規制強化に関して、当連結会計年度の業績に対する直接的な影響は限定的と考えておりますが、状況を注視してまいります。

上述のとおり当社を取り巻く事業環境は、世界経済の不透明さを筆頭に不確実な状況が継続しています。外部環境の変化に十分に注意を払い、サプライチェーン管理の高度化などに注力してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	85,537	75,717
営業債権およびその他の債権	102,152	85,039
棚卸資産	169,082	207,954
その他の流動資産	17,924	28,614
流動資産合計	374,695	397,324
非流動資産		
有形固定資産	64,046	74,837
使用権資産	17,312	15,613
のれんおよび無形資産	95,767	101,813
その他の金融資産	21,488	18,261
繰延税金資産	26,522	26,145
その他の非流動資産	394	1,032
非流動資産合計	225,529	237,701
資産合計	600,224	635,025
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	89,262	70,797
借入金	13,357	54,184
未払法人所得税	30,635	7,920
引当金	9,093	9,330
リース負債	4,587	4,680
その他の金融負債	4,903	4,305
その他の流動負債	22,852	27,204
流動負債合計	174,689	178,420
非流動負債		
借入金	20,000	20,002
リース負債	12,900	11,123
退職給付に係る負債	16,812	16,782
繰延税金負債	5,773	5,115
その他の非流動負債	1,356	1,402
非流動負債合計	56,841	54,424
負債合計	231,530	232,844
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	44,622	44,673
自己株式	△59,099	△56,832
利益剰余金	319,171	340,965
その他の資本の構成要素	31,637	41,012
親会社の所有者に帰属する持分合計	368,694	402,181
資本合計	368,694	402,181
負債および資本合計	600,224	635,025

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	412,799	350,744
売上原価	△172,436	△174,348
売上総利益	240,363	176,396
販売費および一般管理費	△111,550	△117,775
その他の収益	589	3,730
その他の費用	△262	△252
営業利益	129,140	62,099
金融収益	4,376	866
金融費用	△658	△3,398
税引前四半期利益	132,858	59,567
法人所得税費用	△33,052	△12,424
四半期利益	99,806	47,143
四半期利益の帰属 親会社の所有者	99,806	47,143
1株当たり四半期利益		
基本的	132.75円	63.93円
希薄化後	132.25円	63.71円

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	137,993	133,233
売上原価	△56,390	△65,846
売上総利益	81,603	67,387
販売費および一般管理費	△40,528	△40,611
その他の収益	223	114
その他の費用	△74	△60
営業利益	41,224	26,830
金融収益	142	322
金融費用	△3,755	△902
税引前四半期利益	37,611	26,250
法人所得税費用	△8,966	△5,045
四半期利益	28,645	21,205
四半期利益の帰属 親会社の所有者	28,645	21,205
1株当たり四半期利益		
基本的	38.73円	28.74円
希薄化後	38.60円	28.66円

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	99,806	47,143
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	1,067	△3,752
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	8,970	13,127
税引後その他の包括利益	10,037	9,375
四半期包括利益	109,843	56,518
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	109,843	56,518

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	28,645	21,205
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	2,478	△69
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△8,772	△9,246
税引後その他の包括利益	△6,294	△9,315
四半期包括利益	22,351	11,890
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	22,351	11,890

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2022年4月1日 残高	32,363	44,995	△81,547	279,828	18,982	294,621	294,621
四半期利益				99,806		99,806	99,806
その他の包括利益					10,037	10,037	10,037
四半期包括利益	—	—	—	99,806	10,037	109,843	109,843
自己株式の取得		△23	△50,003			△50,026	△50,026
自己株式の処分		△1,619	2,183	△229		335	335
自己株式の消却			68,279	△68,279		—	—
配当金				△25,434		△25,434	△25,434
株式に基づく報酬取引		1,213				1,213	1,213
所有者との取引額等合計	—	△429	20,459	△93,942	—	△73,912	△73,912
2022年12月31日 残高	32,363	44,566	△61,088	285,692	29,019	330,552	330,552

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2023年4月1日 残高	32,363	44,622	△59,099	319,171	31,637	368,694	368,694
四半期利益				47,143		47,143	47,143
その他の包括利益					9,375	9,375	9,375
四半期包括利益	—	—	—	47,143	9,375	56,518	56,518
自己株式の取得			△16			△16	△16
自己株式の処分		△1,153	2,247	△423		671	671
自己株式の消却			36	△36		—	—
配当金				△24,890		△24,890	△24,890
株式に基づく報酬取引		1,204				1,204	1,204
所有者との取引額等合計	—	51	2,267	△25,349	—	△23,031	△23,031
2023年12月31日 残高	32,363	44,673	△56,832	340,965	41,012	402,181	402,181

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	132,858	59,567
減価償却費および償却費	15,262	19,132
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	4,396	19,157
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△59,339	△36,178
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	△212	△20,933
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,962	223
預り金の増減額 (△は減少)	3,858	166
前受金の増減額 (△は減少)	△1,089	2,285
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,225	△632
その他	△10,352	△228
小計	86,119	42,559
利息および配当金の受取額	213	826
利息の支払額	△165	△1,101
法人所得税の支払額	△39,685	△45,076
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	46,482	△2,792
投資活動によるキャッシュ・フロー		
資本性金融商品の売却による収入	—	1,150
有形固定資産の取得による支出	△16,312	△14,079
無形資産の取得による支出	△581	△564
子会社の取得による支出	△3,505	△8,260
その他	417	△184
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△19,981	△21,937
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	15,000	40,000
自己株式の処分による収入	301	627
自己株式の取得による支出	△50,040	△16
配当金の支払額	△25,118	△24,625
リース負債の返済による支出	△2,336	△3,602
その他	△9	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△62,202	12,382
現金および現金同等物に係る換算差額	3,095	2,527
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	△32,606	△9,820
現金および現金同等物の期首残高	116,582	85,537
現金および現金同等物の四半期末残高	83,976	75,717

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	293,415	42,322	77,062	—	412,799
セグメント間の売上高	39	—	—	△39	—
合計	293,454	42,322	77,062	△39	412,799
セグメント利益(調整前営業利益)	122,325	10,041	10,139	△12,171	130,334
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△1,194
営業利益	—	—	—	—	129,140
金融収益	—	—	—	—	4,376
金融費用	—	—	—	—	△658
税引前四半期利益	—	—	—	—	132,858

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	240,037	35,881	74,826	—	350,744
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	240,037	35,881	74,826	—	350,744
セグメント利益(調整前営業利益)	65,250	4,878	4,296	△10,991	63,433
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△1,334
営業利益	—	—	—	—	62,099
金融収益	—	—	—	—	866
金融費用	—	—	—	—	△3,398
税引前四半期利益	—	—	—	—	59,567

前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	98,566	14,169	25,258	—	137,993
セグメント間の売上高	19	—	—	△19	—
合計	98,585	14,169	25,258	△19	137,993
セグメント利益 (調整前営業利益)	40,443	2,979	2,402	△4,141	41,683
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△459
営業利益	—	—	—	—	41,224
金融収益	—	—	—	—	142
金融費用	—	—	—	—	△3,755
税引前四半期利益	—	—	—	—	37,611

当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	88,320	14,905	30,008	—	133,233
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	88,320	14,905	30,008	—	133,233
セグメント利益 (調整前営業利益)	25,682	3,159	2,442	△4,061	27,222
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△392
営業利益	—	—	—	—	26,830
金融収益	—	—	—	—	322
金融費用	—	—	—	—	△902
税引前四半期利益	—	—	—	—	26,250

- (注) 1. 当社グループは、株式報酬費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。
2. 株式報酬費用は、ストック・オプション、業績連動型株式報酬および譲渡制限付株式報酬の費用であります。
3. 報告セグメントの利益は、株式報酬費用調整前営業利益 (△損失) をベースとしております。
4. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。
5. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。
6. 当第3四半期連結累計期間におけるサービス他のセグメント利益には、取引先との係争に関する受取和解金等3,179百万円が含まれます。

2024年1月31日
株式会社アドバンテスト

2023年度第3四半期決算（連結）の概要

1. 損益

(単位:億円)

	2022年度 実績	2023年度実績						2023年度業績予想	
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売上高	5,602	1,013	1,162	1,332	14.6%	3,507	△15.0%	(4,700) 4,800	△14.3%
売上原価	△2,411	△503	△582	△658	13.1%	△1,743	1.1%	—	—
販売費および一般管理費	△1,521	△369	△402	△407	0.9%	△1,178	5.6%	—	—
その他の収益・費用	7	2	32	1	△98.3%	35	10.6倍	—	—
営業利益 (売上高比率)	1,677 (29.9%)	143 (14.1%)	210 (18.1%)	268 (20.1%)	27.8%	621 (17.7%)	△51.9%	(800) 850 (17.7%)	△49.3%
金融収益・金融費用	36	△13	△7	△5	△9.9%	△25	—	—	—
税引前当期利益 (売上高比率)	1,713 (30.6%)	130 (12.8%)	203 (17.5%)	263 (19.7%)	29.0%	596 (17.0%)	△55.2%	(785) 825 (17.2%)	△51.8%
法人所得税費用	△409	△38	△36	△51	39.4%	△125	△62.4%	—	—
当期利益 (売上高比率)	1,304 (23.3%)	92 (9.1%)	167 (14.4%)	212 (15.9%)	26.7%	471 (13.4%)	△52.8%	(600) 645 (13.4%)	△50.5%

(注) 上段()の数値は、2023年10月31日発表時の予想であります。

2. 財政状態

(単位:億円)

	2022年度 実績	2023年度実績			
	4Q末	1Q末	2Q末	3Q末	2Q比
総資産	6,002	6,077	6,308	6,350	0.7%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	3,687	3,836	4,018	4,022	0.1%
親会社所有者帰属持分比率	61.4%	63.1%	63.7%	63.3%	—

3. 配当の状況

(単位:円)

	2022年度実績			2023年度		
	中間	期末	年間	中間	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	65.00	70.00	135.00	65.00	未定	未定

(注) 1. 2023年度の期末配当については現時点で未定です。今後の業績等を勘案し、可能となった時点で速やかに開示する予定です。

2. 当社は2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりますが、2022年度および2023年度中間配当については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。